

現下の時局に鑑み 醫人の覚悟と要望

福島縣醫師會書記部委員 松村 鐵郎

六 衛生行政の進展に關する對策
衛生行政とは何ぞ之れを換言すれば衛生の技術を十分に運用せしむる方法を取らざるであつて前項に於て述べ來つた結核預防に於ても花柳預防に於ても母性乳幼児の保護哺育の件に於ても此の等は...

講談

講談
(102) 林 李兵衛 金子 士郎 著
誘ひの民

「何んか、妙に氣味の悪申して此方から云ふのは不家御座んすね」
「首を縮めた途端に、ス心がおありなら、此の際折と、首を縮めた途端に、ス心がおありなら、此の際折...



仕つた。拙者はかりでなく此の二人の素まで、誠にんともお禮の申し様もなき大層。
「何んか、あの夜丁度拙者等も、酒の機嫌の晴らぬ度我儘から、女小者を伴ふて船遊びの折折で御座つた、幸ひお助け申すことが出来たにやりのこと...」

行發日九十二月一
天氣豫報
今頃は北西の風晴
明日は南東の風晴

兵を送る
「極まりて下むけにすますらをの 雄々し面は 笑みてあらずや
○ 萬歳と打振る旗、旗を持ち 付添ふ父の涙みすも
○ ゆるみたる油の水の上にある小鳥の腹の黄色さ
○ 誰か往ける足袋の跡ある山土の凍みとくるなり など香断えず。

大妻の嫁さ
○ 誰か往ける足袋の跡ある山土の凍みとくるなり など香断えず。

大妻の嫁さ
○ 誰か往ける足袋の跡ある山土の凍みとくるなり など香断えず。

大妻の嫁さ
○ 誰か往ける足袋の跡ある山土の凍みとくるなり など香断えず。

婦人科 木村寅次郎
内木宗八
木村病院
電話一六四番

平製氷會
魚肝油
丸製氷會
電話三三三六番

和洋 建築 家具
片寄製作店
電話四八四番

吸入用酸素純度99%
開内薬局
電話四〇番

木村外科醫院
電話三〇九

互融會事業報告
十二月
融入口數 三、七〇〇
融出口數 一、五〇〇

紳士の喫茶店
バツカス
女店員募集

磐城の御みやげ品
靈峰羊羹
電話三三九番

平屋賣店
各種一本十錢

上原家政婦會
電話二二番

前田醫院
電話三〇番

御贈答品には
かきとろし

穴戸屋商店
電話(鹽干部)四一七番

シモヤケ家傳藥
電話(鹽干部)四一七番

産科醫學博士
五十嵐雄二
電話三三九番

西村屋藥局
電話三三番

あまこ自動車商會
電話六四〇番

